



平成 23 年 8 月 29 日
株式会社カカオジャパン

【カカオトーク】 14.5 億円の資金調達、グローバル化加速

- グローバルモバイルメッセンジャーに向けて 14.5 億円の資金調達
- マベリックキャピタル、韓国投資パートナーズ、DCM など 5 社が参加
- 多様な国・業種の企業参加を通じ、グローバル進出に強力なシナジー効果を期待

(2011 年 8 月 29 日) 韓国のモバイルサービス専門会社 株式会社カカオ(代表リジェボム、<http://www.kakao.com>)はスマートフォン用モバイルメッセンジャー「カカオトーク」のグローバル化のために大規模資金調達を行った。グローバル企業から総額 14.5 億円規模の資金を調達。(株)カカオはカカオトークをモバイル生態系の新たなプラットフォームとして進化・発展させていく。

投資会社はマベリックキャピタル(Maverick Capital)、韓国投資パートナーズ、DCM、サイバーエージェント(CyberAgent)、WeMade エンターテインメントなどの 5 社。今回の投資はアメリカ、日本、韓国の投資専門の会社だけではなく、日本最大のブログサービス提供会社、中国進出を成功させた韓国オンラインゲーム会社など参加企業の国籍も業種も様々。(株)カカオは今回の投資会社と様々な方法で協力していけるよう模索しながら、新規サービスやグローバル進出に向けて強力なシナジー効果を期待している。

今回の投資理由について、関係者は 2,200 万利用者をベースにコンテンツやサービスを流通させるモバイルソーシャルプラットフォームとして、「カカオトーク」の可能性はかなり期待できると判断している為である、と述べた。

2011 年 8 月 29 日現在、「カカオトーク」は加入者 2,200 万人のうち、80%がアクティブユーザー という今までに無い強力な利用率を誇っている。先月設立したカカオジャパンを始め、年内にアメリカ進出など本格的なグローバル進出を計画している。

カカオトーク KakaoTalk

★世界 216 ヶ国、2,200 万人の利用者

★1:1 だけではなく、20 人でも、200 人でも使えるリアルタイムグループチャット

★世界中どこでも、いつでも、どのキャリアでも、スマートフォンならカカオトーク

別紙 1. 投資会社概要

Maverick

- マベリックキャピタル(www.maverickcap.com)は中国ビデオ企業 Youku 等に投資を行い、昨年 12 月 NY 証券取引所(NYSE)上場を果たした資産規模約 110 億ドルのグローバルベンチャーキャピタルである



- DCM(<http://www.dcm.com>)は 1996 年から 140 社以上の企業に投資してきた資産規模約 20 億ドルのグローバルベンチャーキャピタルである。最近では健全なモバイル生態系助成のため、世界初のアンドロイド特化ファンドである A-Fund もローンチ。代表的な投資先として中国の Facebook と呼ばれている renren.com、大手 LED 製造及びソリューション専門企業の bridgelux.com、リアルタイムインターネット放送サービス Ustream.TV などがある。



CyberAgent

- サイバーエージェント(<http://www.cyberagent.info>)は 1998 年に設立された日本を代表する IT 企業及び広告専門企業。1,600 万名以上が利用している日本最大のブログサービスである `Ameba` を運営している。



- 韓国投資パートナーズ(www.kipvc.com)は 2011 年上期だけで 627 億ウォンを投資し、韓国投資規模 3 位にランクされたベンチャーキャピタル。



- Wemade エンターテインメント(www.wemade.com)はグローバルオンラインゲーム会社。`ミールの伝説 2` が中国で大ブレイクするなど創業以来、年間平均 50%台の成長を継続している企業。